

【世の中はほんに狭いと言うけれど またも遭遇そんな出逢いに】

ときどき実感する「世間というのはほんとに狭いもんです」をまたまた実感。

先月笑介したお茶が飲める書店“TEAL GREEN”に伝笑鳩とお写落日記持参で立ち寄る。早速読み始めたご主人が、

「野本さん、中村先生のクリニックに行ってるんですか」と聞いてきた。

どうして、分かったのか・・・。

日記の中で、麻布十番なかむらそうくりニックと書いていたので、ハタと思い当たったとのこと。そうか・・・。

「中村は高校の後輩ですよ。美術部の2年後輩です」と言いながら、ご主人は笑っている。

ラインでトークしているとのことなので、早速スマホショットを先生に送って貰った。

次回通院の折には、お写落日記を持参することにしよう。奇妙ならぬ奇尿な話になりました。

高校が同じ話が多いけど クラブも一緒とは珍しや

笑いネタまたまた使う尿がらみ 奇妙と言わず奇尿なりけり



【五島ではばらもん凧を揚げる風 長崎来れば旗（ハタ）揚げる風】

毎度お馴染み「困った時の朝ドラ頼み」たい。

今回の「舞いあがれ！」のヒロイン岩倉舞ちゃんは熱っぽい身体の養生の為に、母の故郷長崎・五島に行った。そこでみんなで揚げたのが「ばらもん凧」(→左)だ。「ばらもん」とは五島の方言で「元気者、荒くれ者」という意味とのこと。

「ばらもん凧」ばかり揚げて遊び呆けてると「ばかもん」と言われるのかも知れない。どうなのだろう？

長崎では世間で「凧」と呼ばれるものは「旗（ハタ）」(→右)と呼ばれる。

いつ頃からそうなったのかハタと思ひ当たることは無い。不勉強でスミマセン。

そんな洒落を思い浮かべていた所、会社時代の後輩からメールが届いた。副業が認められたとの事。秋田県で洋上風力発電開発支援とかで、名刺のコピーが届いた。舞ちゃんの「養生」話の後が、後輩の「洋上」話に繋がるとは洒落が続きますねえ。



という展開で秋田の凧事情を調べると能代べらぼう凧(上図↑)が出てきた。魔除け・縁起物・贈り物としても人気の工芸品とのことである。

五島の「ばらもん凧」を揚げた風は長崎の「旗（ハタ）」を揚げて、秋田に行けば「べらぼう凧」を揚げるということを知った次第である。

最後、秋田勤務の後輩にはとっておきのジョークを返信で教えて、使って貰うように奨めた。

「ガンバレ。秋田は秋田の風が吹く」と。

ばらもんは元気なことを賞めるとき ばかもんならば叱咤激励

向かい風しっかりとらえ舞い上がれ ばらもんハタべらぼう凧よ

西の果て五島長崎風は舞う 秋田は秋田の風が吹くかも